

新生コニカの 飛躍に向けて

取締役社長 井手 恵生



新生コニカのスタートを機に、コニカテクニカルレポートが発刊され、我々の進めて来た技術開発の成果を発表できることは、まことに意義深い事であります。

コニカは百年以上にわたる会社の歴史の中で、写真科学のリーダーとしてその発達に大きく貢献して参りましたが、その中で感光材料技術を始めとして光学技術、精密機械技術、電子技術をも広範囲に蓄積して来ました。

我々はこれらの大きいひろがりを持つ多種類の技術を活用し、新しい機能や高い性能をもつハイブリッド型の新製品開発を推進して参りましたが、既にいくつかの製品、システムは実用化され、社会に貢献しております。

我々の属している画像情報産業は新しい情報化時代を迎えて、大きなひろがりを見せ、その将来も非常に期待されておりますが、同時に激烈な技術競争も展開されつつあります。これに勝ち抜いてゆくためには休むことのない研鑽が必要であり、私は当社の技術者に対して尚一層の努力を要請しております。

我々は新生コニカの発足と共に各三箇条の基本理念と経営理念を設定致しましたが、基本理念の中の「価値の創造」はまさに研究開発の目標そのものであります。従来概念では想像できなかった商品を開発し、新しい価値を創り出して社会のため、人類のために貢献できることはメーカーとしての最大の喜びであります。また経営理念にある「高感度企業」とは、いかに社会のニーズを敏感にキャッチし、要望に答えられる商品を素早く開発してゆくかと云うことであります。「知的野生企業」とは高いレベルの技術を積極的、攻撃的に実行し量産にも耐える高品質のものとして完成させる意欲を意味します。これらの理念はまさに新生コニカの飛躍のための原動力であります。

テクニカルレポートが社内技術者諸君の一層の切磋琢磨の糧となり、また社外の皆様にはコニカの技術を御理解頂くための役に立てば誠に幸いと存じます。